



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月7日

上場会社名 石油資源開発株式会社

上場取引所 東

コード番号 1662 URL <http://www.iapex.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 渡辺 修

問合せ先責任者 (役職名) 広報IR部長

(氏名) 三原 章司

TEL 03-6268-7110

四半期報告書提出予定日 平成26年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	180,259	9.6	15,977	113.7	30,030	157.9	18,161	—
25年3月期第3四半期	164,519	△0.7	7,477	30.3	11,644	40.9	△18,083	—

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 29,711百万円 (—%) 25年3月期第3四半期 △35,467百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	317.77	—
25年3月期第3四半期	△316.41	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	645,355	462,368	63.4
25年3月期	525,172	403,625	72.8

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 409,020百万円 25年3月期 382,441百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
26年3月期	—	25.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	272,802	18.1	21,540	54.9	38,083	35.6	24,089	—	421.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無
(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	57,154,776 株	25年3月期	57,154,776 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	2,139 株	25年3月期	2,139 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	57,152,637 株	25年3月期3Q	57,152,637 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

平成26年2月7日に四半期決算補足説明資料を当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予想情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(その他の注記事項)	8
4. 補足情報	9
生産・販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における売上高は、原油天然ガスの販売数量の減少などによる減収要因はあるものの、主に為替の影響に伴う販売価格の上昇などにより、180,259百万円と前年同期に比べ15,740百万円の増収（+9.6%）となりました。売上総利益は、前述の販売価格の上昇に加え、減価償却費の減少及び天然ガスの販売数量の減少に伴う変動費の減少などにより売上原価が減少した結果、46,874百万円と前年同期に比べ7,653百万円の増益（+19.5%）となりました。

探鉱費は、海外での支出が大きく減少したことにより7,692百万円と前年同期に比べ1,681百万円減少（△17.9%）し、販売費及び一般管理費は23,204百万円と前年同期に比べ834百万円増加（+3.7%）した結果、営業利益は、前年同期に比べ8,500百万円増益（+113.7%）の15,977百万円となりました。

経常利益は、主に前年同期における持分法による投資損失が投資利益に転じたこと、並びに為替差益が増加したことなどにより、前年同期に比べ18,385百万円増益（+157.9%）の30,030百万円となりました。

税金等調整前四半期純利益は、北海道における勇払油ガス田の生産能力の低下を受けて、特別損失に計上した同油ガス田の生産操業に係る事業資産の減損損失が減少したことなどにより前年同期に比べ45,042百万円増益の21,978百万円となり、四半期純利益は法人税等が増加したものの、前年同期に比べ36,245百万円増益の18,161百万円となりました。

なお、売上高の内訳は次のとおりであります。

(イ) 原油・天然ガス

原油・天然ガス（液化天然ガス（LNG）及びピチューメンを含む）の売上高は、国産原油及びピチューメン、並びに天然ガスの販売数量が減少したものの、為替が大きく円安に振れたことに伴う販売価格の上昇を受け、主にサハリン原油など買入商品原油の売上高が増加したことなどにより、138,978百万円と前年同期に比べ9,451百万円の増収（+7.3%）となりました。

(ロ) 請負

請負（掘さく工事及び地質調査の受注等）の売上高は、6,326百万円と前年同期に比べ2,385百万円の増収（+60.5%）となりました。

(ハ) その他

液化石油ガス（LPG）・重油等の石油製品等の販売、天然ガス・石油製品の受託輸送及びその他業務受託等の売上高は、34,953百万円と前年同期に比べ3,903百万円の増収（+12.6%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、流動資産は減少したものの、固定資産が増加したことにより、前連結会計年度末に比べ120,183百万円増加し、645,355百万円となりました。

流動資産の主な変動は、現金及び預金は増加したものの、有価証券及び流動資産のその他に含まれる現先取引による短期貸付金が減少しております。

固定資産の主な変動は、有形固定資産において、カナダ国ブリティッシュ・コロンビア州のシェールガス開発・生産プロジェクトに係る資産を認識したこと、及び同国アルバータ州 Hangingstone 鉱区におけるオイルサンド開発に係る投資額が増加しており、投資その他の資産において、国際石油開発帝石株等の株価上昇ならびに持分法投資利益による投資有価証券の増加、イラク共和国ガラフ油田の開発に係る投資額が増加しております。

また、負債の部及び純資産の部につきましては、支払手形及び買掛金や長期借入金が増加したものの、短期借入金が増加したことなどにより、負債合計は61,440百万円増加の182,987百万円となり、純資産合計は、その他有価証券評価差額金及び利益剰余金の増加などにより、58,742百万円増加の462,368百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結業績予想につきましては、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益が前回公表予想（平成25年5月10日）を上回る見通しとなりました。これは資産除去債務の見積りの変更及び減損損失の計上などの減益要因はあるものの、油価の上昇及び為替の円安による販売価格の上昇に加え、持分法による投資利益の増加などの増益要因が上回ることによるものです。

なお、今回の業績予想では、通期（平成25年4月から平成26年3月の間）の原油CIF価格を100ドル/バレルから109.93ドル/バレル、為替レートを90円/ドルから98.43円/ドルへ変更しております。

詳しくは、本日平成26年2月7日公表の「業績予想の修正および事業用資産の減損損失の計上に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①原価差異の繰延処理

操業度の時期的な変動により発生した原価差異は、原価計算期間末までにはほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産（その他）及び流動負債（その他）として繰り延べております。

②税金費用の計算

税金費用については、当社及び一部の連結子会社は当第3四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更)

主力事業分野である天然ガス供給事業には、安定供給の維持確保という点において高い公共性があることから、採掘活動終了後も、当社グループが保有する生産、販売用資産を有機的に結びつけ、天然ガス需要家に対する供給事業者としての責務を果たすため、一部の生産、販売用資産については恒久的に使用する予定でありましたが、当第3四半期連結会計期間末での、使用可能性の検討結果により、使用が見込まれなくなった特定の資産については、撤去の時期等を見積ることが出来ることとなり、資産除去債務について合理的な見積りが可能となったことから、見積りの変更を行っております。

この変更により、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は2,440百万円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	53,870	83,034
受取手形及び売掛金	32,337	34,274
有価証券	53,414	34,220
商品及び製品	4,490	4,539
仕掛品	77	385
原材料及び貯蔵品	7,007	4,869
その他	37,479	19,787
貸倒引当金	△31	△38
流動資産合計	188,645	181,074
固定資産		
有形固定資産		
建設仮勘定	2,957	89,996
その他(純額)	87,725	95,072
有形固定資産合計	90,683	185,069
無形固定資産		
その他	10,394	10,304
無形固定資産合計	10,394	10,304
投資その他の資産		
投資有価証券	177,304	196,052
その他	62,806	77,267
貸倒引当金	△31	△39
海外投資等損失引当金	△4,630	△4,372
投資その他の資産合計	235,449	268,907
固定資産合計	336,526	464,281
資産合計	525,172	645,355

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,947	16,758
短期借入金	—	55,402
引当金	170	448
その他	22,037	25,303
流動負債合計	41,155	97,913
固定負債		
長期借入金	24,197	22,110
繰延税金負債	31,983	35,518
退職給付引当金	6,938	6,433
その他の引当金	886	891
資産除去債務	10,858	15,192
その他	5,526	4,927
固定負債合計	80,391	85,074
負債合計	121,547	182,987
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,288	14,288
利益剰余金	291,990	307,579
自己株式	△10	△10
株主資本合計	306,268	321,857
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	78,310	85,656
繰延ヘッジ損益	226	78
為替換算調整勘定	△2,362	1,427
その他の包括利益累計額合計	76,173	87,162
少数株主持分	21,183	53,347
純資産合計	403,625	462,368
負債純資産合計	525,172	645,355

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	164,519	180,259
売上原価	125,298	133,385
売上総利益	39,220	46,874
探鉱費		
探鉱費	9,374	7,841
探鉱補助金	—	△149
探鉱費合計	9,374	7,692
販売費及び一般管理費	22,369	23,204
営業利益	7,477	15,977
営業外収益		
受取利息	1,449	1,833
受取配当金	2,538	2,247
持分法による投資利益	—	7,396
その他	1,400	3,597
営業外収益合計	5,388	15,074
営業外費用		
支払利息	220	560
持分法による投資損失	533	—
その他	467	461
営業外費用合計	1,221	1,021
経常利益	11,644	30,030
特別利益		
補助金収入	345	40
権益譲渡益	2,572	—
その他	6	0
特別利益合計	2,924	41
特別損失		
減損損失	37,031	7,983
その他	601	110
特別損失合計	37,632	8,093
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△23,063	21,978
法人税等	△5,566	3,797
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△17,497	18,180
少数株主利益	586	19
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△18,083	18,161

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失 (△)	△17,497	18,180
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△19,070	7,343
繰延ヘッジ損益	387	△160
為替換算調整勘定	730	4,341
持分法適用会社に対する持分相当額	△17	5
その他の包括利益合計	△17,969	11,530
四半期包括利益	△35,467	29,711
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△36,200	29,150
少数株主に係る四半期包括利益	732	561

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(その他の注記事項)

(固定資産に係る重要な減損損失)

北海道苫小牧市の勇払油ガス田の生産能力の再評価を行った結果、同油ガス田の生産操業に係る事業用資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失を計上しております。当第3四半期連結累計期間における当該減損損失の計上額は7,983百万円であります。

4. 補足情報

生産・販売の状況

① 生産実績

		前第3四半期 連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期 連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	(参考) 前連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
原油・天然 ガス	原油 (kl)	361,253 (2,882)	318,779 (17,441)	482,306 (5,840)
	天然ガス (千m ³)	806,025 (866)	796,253 (97,460)	1,080,116 (1,199)
	液化天然ガス (t)	226	12,235	602
	ビチューメン (kl)	259,828 (259,828)	258,174 (258,174)	348,948 (348,948)

- (注) 1. 原油、天然ガス及びビチューメンの()は海外での生産であり、内数です。
 2. 天然ガスの生産量の一部は、液化天然ガスの原料として使用しております。
 3. ビチューメンとはオイルサンド層から採取される超重質油です。

② 販売実績

		前第3四半期 連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)		当第3四半期 連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)		(参考) 前連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)	
		数量	金額 (百万円)	数量	金額 (百万円)	数量	金額 (百万円)
原油・天然 ガス	原油 (kl)	1,088,919	62,563	955,164	66,389	1,335,639	78,834
	天然ガス (千m ³)	1,067,339	47,377	985,960	49,760	1,455,708	69,795
	液化天然ガス (t)	159,964	12,922	147,954	14,551	229,242	19,098
	ビチューメン (kl)	262,390	6,663	257,312	8,277	349,198	9,694
小計			129,527		138,978		177,423
請負			3,941		6,326		9,674
その他	石油製品・商品		25,112		29,304		36,034
	その他		5,938		5,649		7,953
小計			31,050		34,953		43,988
合計			164,519		180,259		231,086

- (注) 1. 「石油製品・商品」には、液化石油ガス(LPG)、重油、軽油、灯油等が、「その他」には天然ガス・石油製品の受託輸送及びその他業務受託等が含まれております。
 2. 本表の金額には、消費税等は含まれておりません。